

# 品川支部

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

令和8年7月1日発行  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
TEL 3442-7075

## 7月

## 百四十年祭の年 「こどもおちばがえり」です

今年も「こどもおちばがえり」の季節がやって参りました  
百四十年祭の年のこどもおちば帰りです 大人も一緒になって楽しい思い出づくりをしましょう  
何歳になってもあの年祭の時は・・・といった話を仲間と出来るよう  
沢山の人を誘って神様の前に遊びに行きましょう  
暑さ対策も万全、室内での過ごし方も充実してきましたので暑さに弱い人でも大丈夫 次の年祭は十年後です



### ☆支部行事のお知らせ

・支部幹事会

七月九日(木)午後六時  
都南分教会にて

七月九日(木)午後六時  
都南分教会にて

・子供おちば帰り  
百四十年祭の年「子供おちばがえり」  
期間 七月二十七日から  
八月三日まで

時報手配り七月予定  
一日は八日に合併号と  
なり発行は有りません

・支部例会  
七月は例年になって参りましたが、本部  
子供おちば帰りの期間に重なりますので  
二十一日開催になります  
会場は豊英分教会です  
※二頁に詳細掲載

### ※南参道のライトアップ

・有志ひのきしん

「有志ひのきしん」  
在宅センターひのきしん  
二十九日大井在宅介護センターで  
尚、神名流し、ゴミ拾ひひのきしんは  
七月八月はありません  
教区ひのきしん  
今月は本荘組です  
よろしくお努め願います

・学生担当委員会  
カルトについて  
危険な組織から守るため

・教区決算と今期予算審議・承認会議

先月十九日入江教区長はじめ  
主事、担当者から各支部の地方委員に向  
けての前期決算と今期予算の説明があり、  
質疑応答の上承認されました  
尚、現在管内教会の七百七十三カ所と  
二百三十七カ所の布教所からの教費収入、  
本部交付金、そのほかで運営されています

・少年ひのきしん隊本部錬成会  
東京教区団は七月二十九日から  
八月一日まで冷たいお茶所等の  
ひのきしんと錬成会参加  
\*七月十九日に事前研修です  
今からの参加も歓迎のこと

・教区ひのきしん

在宅センターひのきしん

二十九日大井在宅介護センターで

尚、神名流し、ゴミ拾ひひのきしんは

七月八月はありません

・教区ひのきしん

今月は本荘組です

よろしくお努め願います

### ☆教務支庁からのお知らせ

・教区決算と今期予算審議・承認会議

先月十九日入江教区長はじめ

主事、担当者から各支部の地方委員に向

けての前期決算と今期予算の説明があり、

質疑応答の上承認されました

尚、現在管内教会の七百七十三カ所と

二百三十七カ所の布教所からの教費収入、

本部交付金、そのほかで運営されています

・子供おちば帰り  
百四十年祭の年「子供おちばがえり」  
期間 七月二十七日から  
八月三日まで

・学生担当委員会  
カルトについて  
危険な組織から守るため

・少年ひのきしん隊本部錬成会  
東京教区団は七月二十九日から  
八月一日まで冷たいお茶所等の  
ひのきしんと錬成会参加  
\*七月十九日に事前研修です  
今からの参加も歓迎のこと

・有志ひのきしん  
在宅センターひのきしん  
二十九日大井在宅介護センターで  
尚、神名流し、ゴミ拾ひひのきしんは  
七月八月はありません  
教区ひのきしん  
今月は本荘組です  
よろしくお努め願います

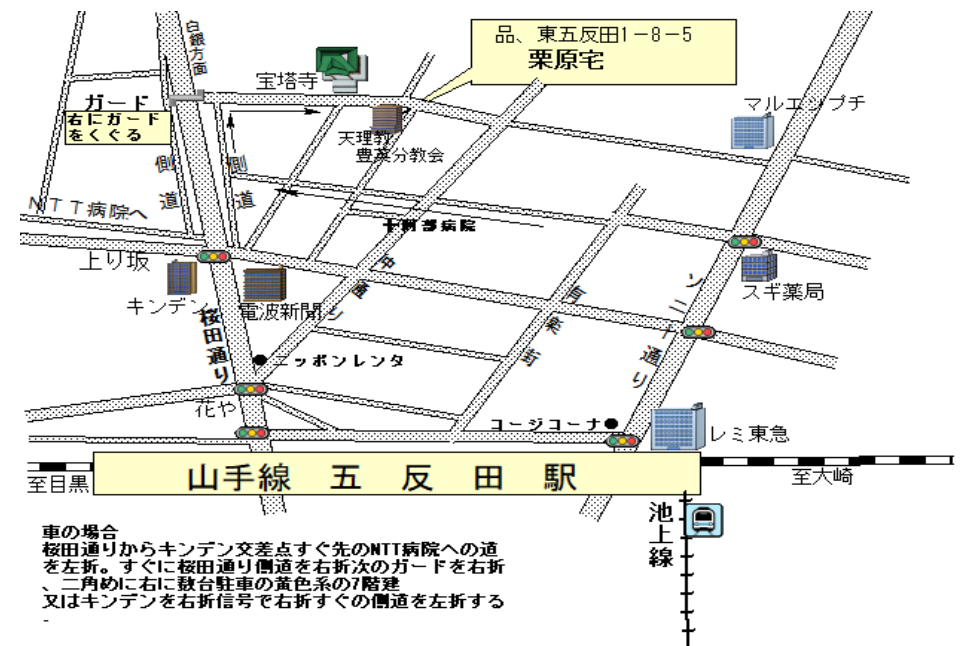
・教区決算と今期予算審議・承認会議  
先月十九日入江教区長はじめ  
主事、担当者から各支部の地方委員に向  
けての前期決算と今期予算の説明があり、  
質疑応答の上承認されました  
尚、現在管内教会の七百七十三カ所と  
二百三十七カ所の布教所からの教費収入、  
本部交付金、そのほかで運営されています

拠点教会	8日号	15日号	22日号	29日号
日本橋	手配り	手配り	手配り	直送
水豊田	手配り	手配り	手配り	直送
三ツ木	手配り	直送	手配り	直送
南泰	手配り	手配り	手配り	直送
本荘	直送	直送	直送	直送

# 品川支部例会

## 令和八年七月二十一日 (火) 11時開始

### 場所 豊英分教会 座りづとめ よろづよ八首七下目 東京教区、支部連絡事項 当該栗原教会長挨拶 昼食の用意頂いてます \*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)



豊英分教会  
品川区東五反田1-8-5  
03-3442-7075

車の場合  
桜田通りからキнден交差点すぐ先のNTT病院への道を左折。すぐに桜田通り側道を右折次のガードを右折、二角めに右に教台駐車場の黄色系の7階建又はキнденを右折信号で右折すぐの側道を左折する

### お盆間近

豊英分教会長



ついでこの間、お正月を過ぎたと思っていたら半年が過ぎ梅雨から夏と一年の早さがどんどん加速してくる感じのこの頃です。最近では何事も有り難いなど思えるようになってきました。自身が後期高齢者になることは想像していませんでしたが、これもいいもんだなとも思える昨今です。

さて、私の教会ではこのところお出直しが数回続き葬儀を執り行う事に伴い法事の意味等をお話しする機会が増えて参りました。今回はお盆も近いことから仏式での法事とお道での考え方を整理してみたく書いてみました。まず仏式ですと葬儀の法要を含まず四十九日までの法事についてであり、人は亡くなりますと現世から中陰と呼ばれる所で四十九日間冥土の旅に入ります。

そこでは七日毎の審判を受け生前の行いで天道、人間道、修羅道、畜生道、餓鬼道、地獄道のどこに行くことになるかの厳しい試験の旅になる訳であります。七日ごとの裁判官は、初七日秦広王・ふた七日は三途の川を渡ると初江王・み七日は宋帝王・よ七日は悟官王・いつ七日はあの有名な嘘をつく舌を抜かれる閻魔王で送られ先の大筋の場所の決定がなされます。む七日の变成王が今までの試験の結果を踏まえて確認の試験を行い四十九日に当たる・しち七日の泰山王が最終決定を下す日となり四十九日が大切な法要の日となる訳であります。それぞれ七日ごとの法要は不動明王・釈迦如来・文殊菩薩・普賢菩薩・地藏菩薩・弥勒菩薩・薬師如来に祈りお願いすることが故人への裁判における応援になると聞かれています。これは宗派により大部違いますが、あるようで、宗派によっては冥土そのものが無い所もあります。で神道、他宗教を含めて「冥福をお祈り致します」等の慣用句が使えない事が相当数有ることも気をつけたいところでもあります。

では、お道ではどのように十日祭・五十日祭、年祭を考えると良いのでしょうか。ここからは私自身の悟りです。そのようにお読み頂きたいと思っております。お道の場合は神道の一部と共通するところがありまして、お出直しすると御霊様は生前の身徳を神様としてお祀りいたし教会を含めてゆかり有る方々家々の陽気ぐらしへの守り神としてご守護下さいます。すよう霊舎に鎮座頂くものと思っております。そのように考えますとお道の法事は仏式とは大部異なっており、他界に行かれた方を応援したりお慰めするものではなく、御霊様お出直しの後も五十日間このように無事に過ごさせて頂きました。一年間お陰様で陽気に暮らすことが出来ましたというような感謝をお伝えし、尚のご守護をお願いするための行事と捉えているわけであり、寂しさは計り知れませんが、その中でも何より御霊様に喜び頂くには御霊様が今を作り又お見守り下さいます。

お陰でこんなに幸せに楽しく暮らさせて頂いております。という陽気な姿を見て頂き安心して頂くための行事であるとの思いもあります。こうしてみますと五十日祭と仏式の四十九日は同じようなタイミングですが全く違ったものが見えてきます。さて話は私事になりますが少し前に長男の結婚式を執り行わせて頂きました。親が祭主で司るといっても少し違和感はありましたが、自教会で二十六日の式と言うことで選択の余地も無く随分久しぶりに勤めました。廻りの顔も喜びいっぱい、自身もうれしさの中で勤めることが出来ました。事で改めてやはり、出来れば葬儀より婚儀、又、初七日よりお七夜が多い方がよいなど、思った次第であります。

栗原 薫